

# 有害プランクトン情報 (令和2年度 - No. 1)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所・生産技術研究室  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 4月 第1回 内湾 (8地点) 4/16 内房 (7地点) 4/17  
貝類漁場内 千葉北部 4/15, 4/27 木更津南部 4/21

## 【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150% 以上) は確認されませんでした。  
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発生します。

## 【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンのディノフィシス アキュミナータが 4/16 に船橋～富津の内湾の全地点でみられ、最高密度は羽田沖の 1.05 細胞/mL でした。同種は 4/15,4/27 に千葉北部の貝類漁場内でもみられ、密度はそれぞれ 1.6 細胞/mL, 0.05 細胞/mL でした。またディノフィシス ロツンダータも 4/16 に千葉県沿岸から内湾沖合にかけてみられ、いずれの地点も 0.05 細胞/mL でした。内房では 4/17 に浦賀水道 2 番のみでディノフィシス アキュミナータ (0.12 細胞/mL) とディノフィシス ロツンダータ (0.15 細胞/mL) がみられました。被害情報はいずれの日もありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

## ○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

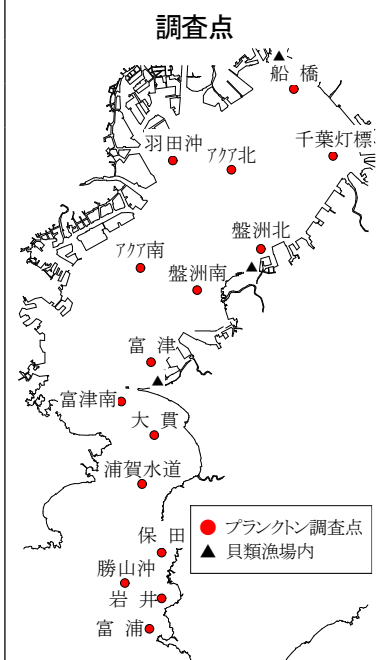
- 4/16 内湾 珪藻 コシノディスカス属, スケルトネマ属, キートセロス属
- 4/17 内房 珪藻 スケルトネマ属, キートセロス属, コシノディスカス属



コシノディスカス属 (4/16 富津)



スケルトネマ属 (4/17 浦賀沖)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所  
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp